

職業指導		非常勤講師 宮野祥雄	
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	25310201

1. 授業のねらい・概要

人生 80 余年の時代となっている。この時代の若者の進路・職業指導を行う者は発達や職業についての知見，青年の理解と指導の方略を備えもつことが望まれる。本講義においては上述の知見や方略の説明を試みる。これらの学習の成果は学習者の進路・職業指導における適性のみならず，学習者自身の主体的・個性的な自分づくりをも育むと確信する。

2. 授業の進め方

講義及び演習。質疑応答の時間を設ける。

3. 授業計画

※15 回目の授業時にまとめを行う。

1. 職業指導とは	9. 職業指導に必要な人格・発達の知見：職業観の発達
2. しっかりとした職業指導が求められるゆえん	10. 職業指導に必要な指導的知見と技術：個人指導と集団指導の留意点
3. “キャリア”と発達について	11. 職業指導に必要な職業的知見と指導的技術：“自己分析”指導
4. 職業指導に必要な人格・発達の知見について	12. 職業指導に必要な職業的知見と指導的技術：“職業適性テスト”指導
5. 職業指導に必要な人格・発達の知見：個人的価値体系の発達	13. 職業指導に必要な職業的知見と指導的技術：“適職開発”指導
6. 職業指導に必要な人格・発達の知見：精神的自立性の発達	14. 職業指導に必要な指導的知見：“キャリアデザイン”指導 と “就活”指導，その他
7. 職業指導に必要な人格・発達の知見：論理的思考の発達	15. 職業指導に必要な指導的知見：職業指導の事例
8. 職業指導に必要な人格・発達の知見：社会適応性の発達	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

シラバスや参考文献をもとに今回の講義内容を理解しようとの思いを抱いて講義に臨んで欲しい。各講義における受講準備として，予習を，1 時間程度行って欲しい。各講義の復習を必要に応じて行って欲しい。この復習に最低 30 分程度は時間をかけて欲しい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

上記の各回における講義のまとめ時とその次の回における導入の時間に，学習してきた基礎的かつ基本的な知見の理解度をチェックする。定期試験の終了時に試験の解答を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

授業の各回において取り上げる基礎的かつ基本的な知見を理解し，自己のものとする。

7. 成績評価の方法・基準

定期テストの結果（100％）を，評価の対象とする。

8. テキスト・参考文献

テキストは用いない。参考文献については授業時に説明する。

9. 受講上の留意事項

4 日以上欠席者は定期試験の資格を失う。